

令和8年産に向けた水田農業の取組方針 (ver.1.0)

農林水産省農産局企画課

水田農業対策室

令和7年11月

農林水産省

令和7年11月6日全国会議資料抜粋

令和7年産の水田における作付状況（令和7年9月15日時点）①

- 令和7年産の主食用米の作付面積は、前年実績（125.9万ha）から**10.8万ha**（6月末時点の作付意向から**0.4万ha**）増加し、**136.7万ha**となった。
- 戦略作物等の作付面積は、いずれの品目も減少するとともに、畑地化面積については、0.8万haとなった。

【主食用米、備蓄米及び戦略作物の作付状況】

年 産	主食用米	備蓄米	戦略作物等									(万ha)
			加工用米	新規 需要米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稻 (稻発酵粗 飼料用稻)	麦	大 豆	飼料作物 そば なたね	
H30年産	138.6	2.2	5.1	13.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0
R元年産	137.9	3.3	4.7	12.4	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6
R2年産	136.6	3.7	4.5	12.6	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6
R3年産	130.3	3.6	4.8	17.4	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2
R4年産	125.1	3.6	5.0	20.6	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9
R5年産	124.2	3.5	4.9	20.4	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8	8.5	53.1
R6年産	125.9	3.0	5.0	17.3	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4	7.4	48.3
R7年産	136.7	—	4.4	10.8	0.9	0.4	4.6	4.9	9.5	7.5	6.7	38.8
対前年差	10.8	▲ 3.0	▲ 0.6	▲ 6.5	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 5.3	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 9.5
畑地化面積	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.1	0.3
												※ (0.8) 0.5

注1：加工用米及び新規需要米（新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米及びWCS用稻）のR6年産以前の実績は、取組計画の認定面積。R7年産は取組計画の届出面積。

2：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

3：備蓄米は、R7年産米の入札を当面中止。R6年産以前の実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

4：R7年産畑地化面積は、令和7年度に畑地化促進事業で採択された面積。また、戦略作物等合計面積欄の0.8万haについては、麦、大豆、飼料作物、そば、なたねのほか、高収益作物等を加えた面積。

5：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和7年産の水田における作付状況（令和7年9月15日時点）②

都道府県	戦略作物等													【参考】R7年産畑地化面積 (ha)					
	主食用米 ①	【参考】		加工用米	前年産 からの 増減	新規 需要米	前年産 からの 増減	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稻 稻発酵粗 飼料用稻	その他	麦	大豆	飼料 作物	そば	なたね	戦略 作物等 合計	
		前年産 (6年産) ②	増減 ①-②																
全国計	136.7万	125.9万	10.8万	44,190	▲ 6,007	107,502	▲ 65,288	9,003	3,514	46,004	48,896	84	94,809	74,900	43,840	22,151	533	387,923	7,800
北海道	90,400	83,700	6,700	8,103	1,303	7,553	▲ 2,901	2,114	93	2,305	3,042	-	29,659	14,763	6,980	4,775	336	72,169	5,029
青森	43,700	37,200	6,500	344	▲ 336	5,233	▲ 1,560	292	16	4,248	676	-	475	4,254	2,548	853	2	13,709	343
岩手	46,900	43,100	3,800	798	▲ 479	5,267	▲ 2,520	350	19	2,894	2,004	1	3,332	3,716	5,412	532	12	19,069	244
宮城	65,300	58,400	6,900	1,810	865	6,464	▲ 4,979	815	56	3,330	2,261	2	2,243	8,570	4,532	365	0	23,984	153
秋田	81,200	72,200	9,000	5,581	▲ 2,838	2,451	▲ 2,189	453	171	809	1,016	2	117	7,328	1,637	3,391	-	20,504	144
山形	57,100	52,400	4,700	4,698	390	4,847	▲ 1,764	450	53	3,109	1,230	5	100	4,049	2,072	3,652	2	19,419	809
福島	67,000	56,500	10,500	946	518	2,423	▲ 5,836	98	20	1,440	865	0	367	804	1,523	1,297	103	7,465	113
茨城	66,700	59,900	6,800	1,082	▲ 209	5,716	▲ 6,454	898	98	4,173	546	1	3,571	656	434	425	0	11,884	110
栃木	58,100	49,000	9,100	1,693	▲ 219	7,190	▲ 7,666	48	176	5,014	1,952	-	6,632	360	2,555	1,206	6	19,642	103
群馬	14,700	12,800	1,900	206	▲ 1,150	923	▲ 956	3	120	242	557	-	1,405	97	153	15	-	2,798	13
埼玉	30,600	28,400	2,200	44	▲ 100	1,273	▲ 1,896	19	314	816	123	-	2,222	299	150	100	1	4,089	2
千葉	53,100	48,300	4,800	1,514	▲ 558	3,159	▲ 4,958	81	42	2,065	971	-	429	171	239	5	-	5,515	24
東京	112	107	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川	2,840	2,840	0	-	-	9	▲ 6	-	-	7	2	-	2	3	1	0	-	15	0
新潟	108,600	101,400	7,200	6,642	▲ 118	4,234	▲ 2,538	1,546	723	1,334	630	0	226	3,307	277	680	-	15,366	31
富山	33,700	31,200	2,500	1,271	128	2,621	▲ 509	364	258	1,472	528	-	2,923	3,581	301	250	22	10,969	17
石川	22,100	21,200	900	595	67	449	▲ 507	28	189	121	112	-	1,107	798	28	145	-	3,123	1
福井	23,300	21,900	1,400	787	294	1,337	▲ 743	277	85	851	125	-	4,985	45	35	524	-	7,712	3
山梨	4,560	4,590	▲ 30	55	▲ 12	54	▲ 7	-	17	13	24	-	55	83	17	112	-	377	-
長野	30,000	29,000	1,000	423	▲ 333	579	▲ 339	175	36	136	233	-	2,288	564	476	1,925	-	6,255	87
岐阜	20,800	19,600	1,200	987	▲ 153	2,079	▲ 1,229	58	67	1,660	295	-	3,601	241	546	250	6	7,709	23
静岡	14,700	14,400	300	26	▲ 72	614	▲ 500	1	6	290	317	-	170	20	36	24	0	891	7
愛知	25,700	25,000	700	520	▲ 130	1,439	▲ 399	36	292	971	140	-	5,557	47	120	5	4	7,693	-
三重	25,700	24,500	1,200	111	▲ 65	1,296	▲ 1,165	91	33	862	310	-	6,721	115	178	7	4	8,434	1

注1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。

2：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。

3：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

4：R7年産畑地化面積は、令和7年度に畑地化促進事業で採択された面積。

5：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和7年産の水田における作付状況（令和7年9月15日時点）③

都道府県	主食用米		戦略作物等												【参考】R7年産畑地化面積 (ha)			
	【参考】		加工用米	前年產から の増減	新規 需要米	前年產 から の 増減	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉 用米	飼料 用米	WCS用稻 稻發酵粗 飼料用稻	その他	麦	大豆	飼料 作物	そば	なたね		
	前年產 (6年產) ②	増減 ①-②																
滋賀	29,300	27,400	1,900	296	▲ 209	1,104	▲ 1,037	136	37	601	330	-	7,941	620	179	113	9	10,262
京都	13,200	13,000	200	355	▲ 174	244	▲ 84	19	10	69	147	-	254	214	51	130	-	1,249
大阪	4,100	4,290	▲ 190	0	▲ 0	7	▲ 6	-	1	1	5	-	1	5	1	-	-	15
兵庫	33,600	32,200	1,400	563	▲ 104	1,387	▲ 604	193	29	250	910	6	1,810	1,351	648	94	8	5,861
奈良	7,750	7,960	▲ 210	4	▲ 7	60	▲ 45	-	13	8	39	-	74	28	4	1	0	170
和歌山	5,600	5,680	▲ 80	-	-	5	▲ 2	-	1	2	2	-	9	8	1	2	-	24
鳥取	12,000	11,600	400	19	2	855	▲ 320	19	1	426	410	0	80	450	707	300	-	2,410
島根	16,100	15,700	400	117	▲ 83	1,180	▲ 400	0	7	453	720	0	205	441	368	252	5	2,567
岡山	28,100	27,200	900	98	▲ 183	1,018	▲ 936	216	27	297	477	-	898	706	781	96	-	3,596
広島	20,200	20,100	100	165	▲ 193	855	▲ 388	38	67	113	638	0	254	180	841	222	-	2,517
山口	16,300	15,800	500	828	▲ 143	1,128	▲ 429	93	18	589	427	-	749	605	718	30	0	4,058
徳島	10,300	9,790	510	3	▲ 17	362	▲ 563	2	4	168	187	-	47	2	77	2	-	493
香川	10,100	9,770	330	22	▲ 31	426	▲ 149	21	8	60	337	-	1,083	30	199	3	1	1,765
愛媛	12,700	12,700	0	46	0	380	▲ 206	-	2	160	218	-	392	251	189	3	-	1,261
高知	10,500	10,100	400	73	▲ 10	830	▲ 574	-	15	492	323	-	3	48	111	0	-	1,065
福岡	34,500	32,200	2,300	180	▲ 34	3,134	▲ 1,577	3	235	937	1,958	-	1,195	6,673	374	37	1	11,592
佐賀	23,700	22,000	1,700	320	▲ 56	2,230	▲ 784	15	12	451	1,753	-	210	6,281	329	12	0	9,384
長崎	9,460	9,360	100	4	▲ 1	1,486	▲ 245	13	3	76	1,395	-	76	191	1,543	35	2	3,338
熊本	31,900	28,800	3,100	282	▲ 385	8,896	▲ 2,118	26	59	564	8,202	45	632	1,741	1,666	153	6	13,376
大分	18,900	17,800	1,100	119	▲ 40	3,342	▲ 1,263	5	56	1,015	2,266	-	599	795	825	72	1	5,753
宮崎	13,500	12,400	1,100	1,550	▲ 559	7,570	▲ 766	8	16	768	6,758	19	12	187	2,640	26	0	11,986
鹿児島	17,600	15,600	2,000	877	▲ 566	3,757	▲ 1,158	-	10	340	3,405	2	98	220	1,318	29	-	6,297
沖縄	597	557	40	34	▲ 6	35	▲ 12	-	1	2	32	-	-	-	22	-	-	91

注1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米の面積。

2：加工用米及び新規需要米は、取組計画の届出面積。

3：麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねは、地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

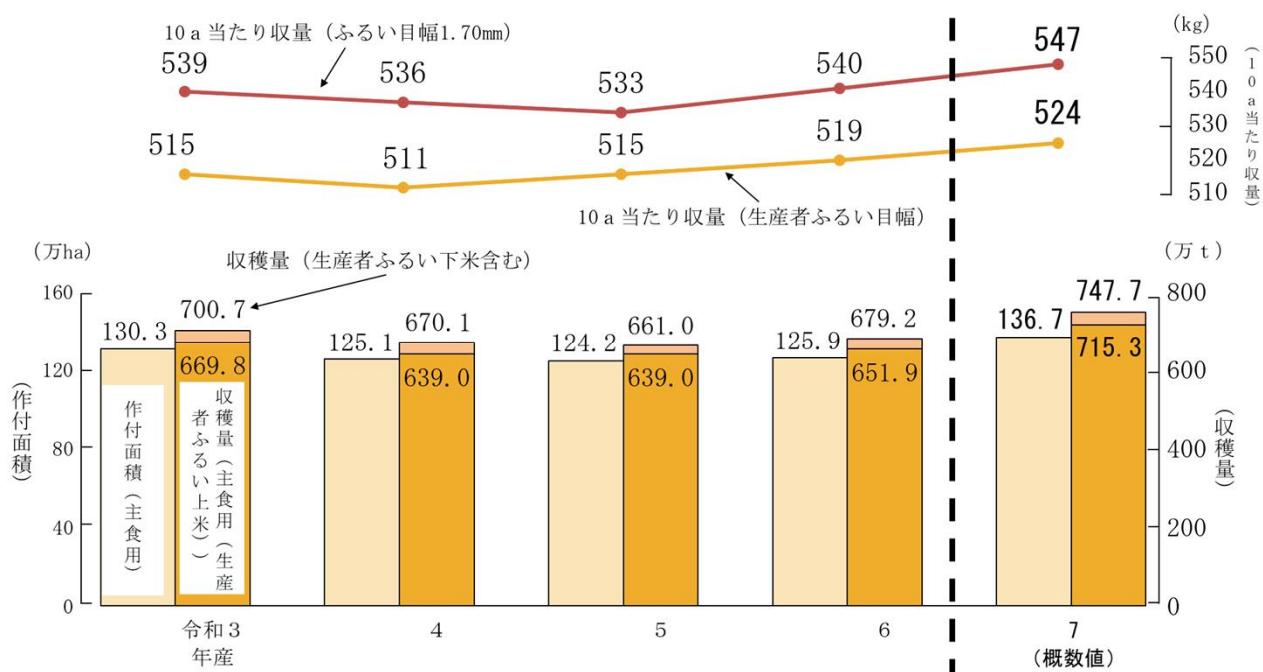
4：R7年産畑地化面積は、令和7年度に畑地化促進事業で採択された面積。

5：単位未満で四捨五入しているため、表記上の数値による計算結果と一致しない場合がある。

令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

- 令和7年産の水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅1.85mm、1.90mm等ベースの予想収穫量（主食用）は715.3万トンで、前年産に比べ63.4万玄米トン増加と見込まれる。これは、
 - ① 作付面積（主食用）が、新規需要米や備蓄米等からの転換等があったため、136.7万haで、前年産に比べ10.8万ha増加と見込まれることに加え、
 - ② 全国の10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、一部地域で5月上旬から6月中旬にかけての気温や日照時間が前年を下回る地域があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれたため、524kgで、前年産に比べ5kg増加と見込まれるためである。
- 令和7年産の水稻の9月25日現在のふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用）は747.7万トンで、前年産に比べ68.5万トン増加と見込まれる。

【水稻の作付面積（主食用）、10a当たり収量及び収穫量の推移（全国）】



資料：農林水産省大臣官房統計部「作物統計調査 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」

注：1 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量及び

予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり予想収量につ

いては、都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。

4 10a当たり予想収量及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

産地別民間在庫の状況（令和7年9月）

(単位:千トン(玄米))

	6年 8月 ① (千玄米トン)	6年 9月 ② (千玄米トン)	7年 8月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-①	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	7年 9月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-②	対前年 同月比 ⑧=⑦/② (%)
北海道	49.3	171.4	75.4	+ 26.1	+ 53.0%	214.7	+ 43.3	+ 25.3%
青森	23.4	68.1	38.5	+ 15.1	+ 64.4%	139.0	+ 70.9	+ 104.0%
岩手	29.2	38.4	30.0	+ 0.8	+ 2.6%	50.5	+ 12.1	+ 31.4%
宮城	38.0	67.0	47.7	+ 9.7	+ 25.6%	86.9	+ 19.9	+ 29.6%
秋田	21.8	104.0	43.3	+ 21.5	+ 98.9%	140.0	+ 36.0	+ 34.6%
山形	39.3	67.9	61.2	+ 21.9	+ 55.9%	99.6	+ 31.7	+ 46.6%
福島	40.9	54.1	47.8	+ 6.9	+ 16.9%	81.1	+ 27.0	+ 49.9%
茨城	36.8	100.4	39.8	+ 3.1	+ 8.4%	127.2	+ 26.8	+ 26.7%
栃木	36.8	90.9	30.2	▲ 6.6	▲ 18.0%	96.4	+ 5.4	+ 6.0%
群馬	4.6	3.0	6.5	+ 1.9	+ 41.6%	5.2	+ 2.3	+ 76.1%
埼玉	5.3	9.6	4.5	▲ 0.8	▲ 14.3%	12.3	+ 2.7	+ 27.9%
千葉	52.5	72.3	65.9	+ 13.4	+ 25.5%	104.6	+ 32.3	+ 44.6%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.4	0.5	0.3	▲ 0.1	▲ 35.0%	0.6	+ 0.1	+ 30.9%
山梨	1.5	2.4	1.2	▲ 0.3	▲ 20.3%	1.8	▲ 0.6	▲ 25.1%
長野	18.2	29.6	16.8	▲ 1.3	▲ 7.3%	28.7	▲ 1.0	▲ 3.3%
静岡	5.0	13.8	7.7	+ 2.7	+ 53.5%	18.9	+ 5.1	+ 36.9%
新潟	42.4	166.8	53.4	+ 10.9	+ 25.8%	231.1	+ 64.4	+ 38.6%
富山	17.1	59.4	24.6	+ 7.4	+ 43.5%	62.7	+ 3.2	+ 5.4%
石川	19.7	57.4	19.8	+ 0.2	+ 0.9%	62.9	+ 5.5	+ 9.6%
福井	13.2	37.6	21.5	+ 8.4	+ 63.5%	45.9	+ 8.3	+ 22.0%
岐阜	6.9	7.5	7.7	+ 0.8	+ 11.7%	9.2	+ 1.7	+ 22.5%
愛知	8.3	11.2	9.5	+ 1.2	+ 14.5%	14.5	+ 3.3	+ 29.8%
三重	11.9	25.8	15.3	+ 3.3	+ 27.9%	35.5	+ 9.7	+ 37.8%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

2 報告対象業者は、全農、道県経済連・県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)、

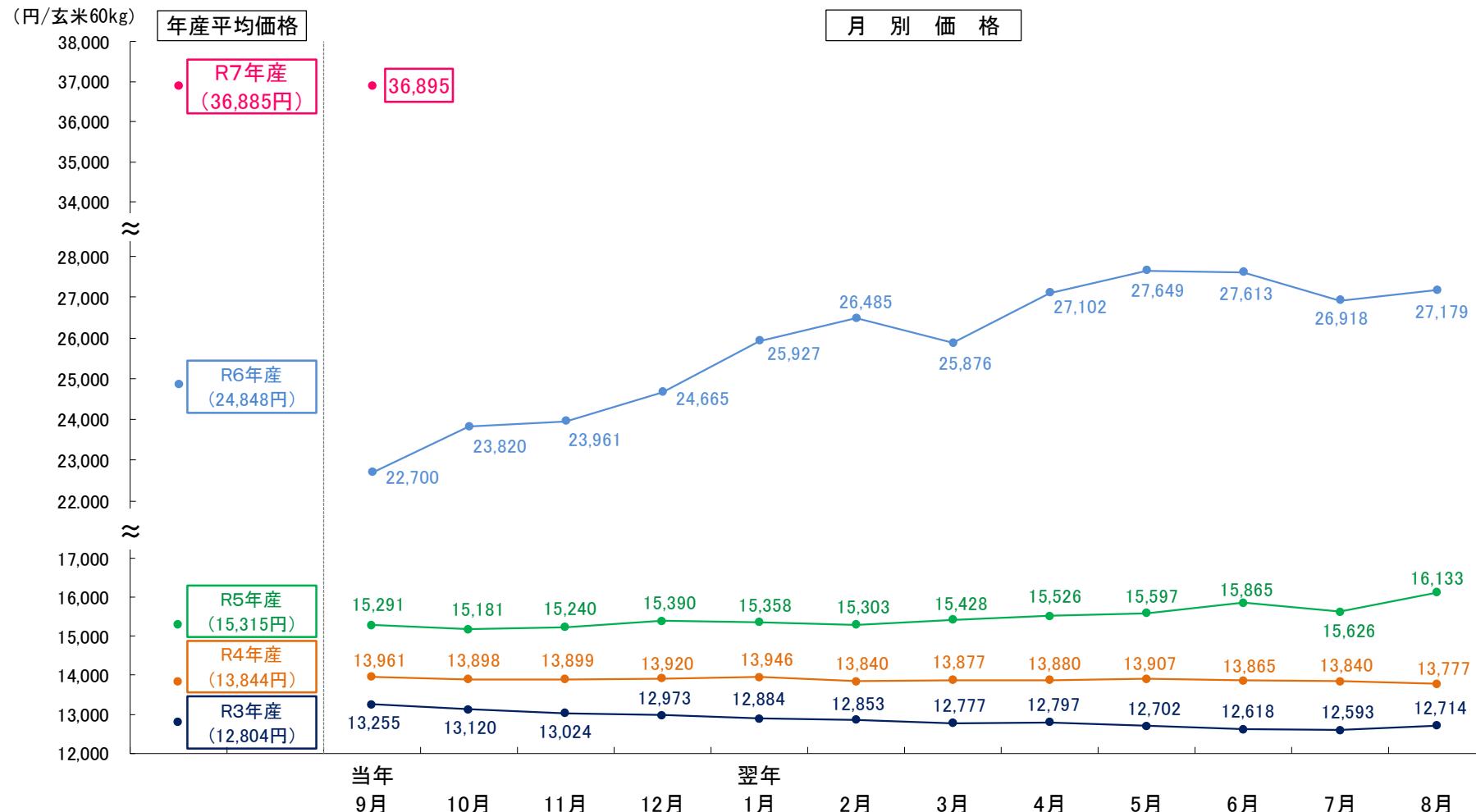
米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

3 令和7年8月及び9月には、売り渡した政府備蓄米の数量(7年8月:1.8万トン、7年9月:1.0万トン)を含む。

	6年 8月 ① (千玄米トン)	6年 9月 ② (千玄米トン)	7年 8月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-①	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	7年 9月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-②	対前年 同月比 ⑧=⑦/② (%)
滋賀	9.0	37.3	12.7	+ 3.7	+ 41.6%	41.1	+ 3.8	+ 10.3%
京都	1.1	6.2	1.9	+ 0.8	+ 72.4%	6.4	+ 0.3	+ 4.0%
大阪	0.2	0.2	0.1	▲ 0.1	▲ 48.5%	0.1	▲ 0.1	▲ 29.2%
兵庫	11.8	19.2	9.7	▲ 2.2	▲ 18.2%	20.5	+ 1.3	+ 6.6%
奈良	1.8	1.8	1.2	▲ 0.6	▲ 33.8%	1.4	▲ 0.4	▲ 20.2%
和歌山	0.3	0.4	0.4	+ 0.0	+ 13.1%	1.2	+ 0.7	+ 165.8%
鳥取	4.0	8.7	9.0	+ 5.0	+ 123.6%	14.4	+ 5.7	+ 65.1%
島根	3.9	13.4	5.6	+ 1.7	+ 44.2%	15.0	+ 1.6	+ 11.7%
岡山	9.4	11.4	14.9	+ 5.4	+ 57.4%	16.9	+ 5.4	+ 47.5%
広島	5.1	19.1	6.2	+ 1.0	+ 19.7%	17.6	▲ 1.5	▲ 8.1%
山口	5.7	12.7	7.6	+ 1.9	+ 33.6%	14.6	+ 1.9	+ 14.8%
徳島	5.1	7.4	5.9	+ 0.9	+ 17.0%	12.1	+ 4.7	+ 63.1%
香川	1.6	2.5	3.0	+ 1.4	+ 87.6%	3.5	+ 1.0	+ 41.5%
愛媛	3.3	4.3	3.0	▲ 0.3	▲ 8.7%	4.5	+ 0.1	+ 3.3%
高知	6.8	5.6	7.7	+ 0.9	+ 12.9%	7.5	+ 1.9	+ 34.2%
福岡	9.2	15.8	9.4	+ 0.2	+ 2.5%	17.8	+ 2.0	+ 12.9%
佐賀	6.7	6.7	7.3	+ 0.5	+ 8.0%	7.4	+ 0.7	+ 9.9%
長崎	1.9	1.9	2.6	+ 0.7	+ 37.3%	2.8	+ 1.0	+ 52.0%
熊本	7.3	7.7	9.5	+ 2.2	+ 30.1%	13.3	+ 5.6	+ 72.8%
大分	3.0	3.6	3.6	+ 0.5	+ 17.8%	5.3	+ 1.7	+ 48.8%
宮崎	3.9	2.3	4.7	+ 0.9	+ 22.4%	5.7	+ 3.4	+ 152.0%
鹿児島	4.0	2.6	7.0	+ 3.0	+ 74.9%	8.3	+ 5.8	+ 224.4%
沖縄	0.2	0.2	0.5	+ 0.2	+ 92.8%	0.3	+ 0.2	+ 105.4%
全国	65万トン	149万トン	83万トン	+18万トン	+ 28.1%	196万トン	+47万トン	+ 31.9%

相対取引価格の推移（令和3年産～令和7年産）

- 令和7年産米の令和7年9月の相対取引価格は、概算金が昨年より3割から7割程度高い価格で設定されていることなどから、全銘柄平均で36,895円/玄米60kgとなり、対前年同月+14,195円（+63%）、対前月+9,716円（+36%）となったところ。また、取引数量は、16.0万トン（対前年同月比▲36%）となった。
- 年産平均価格36,885円/玄米60kgは、出荷業者と卸売業者等との間の取引価格としては、比較可能な平成2年以降で過去最高の価格である。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（6年産及び7年産は出回りから令和7年9月までの速報値）の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移。

令和7年産米の相対取引価格（令和7年9月の年産平均価格）

産地品種銘柄		令和7年産 〔出回り～ 7年9月〕 ①	令和6年産 〔出回り～ 7年9月〕 ②	価格差 ①-②
北海道	ななつぼし	36,540	27,020	+ 9,520
北海道	ゆめひのか	37,701	28,014	+ 9,687
北海道	きらら397	-	26,324	-
青森	まつぐら	36,825	26,172	+ 10,653
青森	はれわたり	36,572	-	-
岩手	ひとめぼれ	37,048	23,516	+ 13,532
岩手	銀河のしづく	37,470	24,933	+ 12,537
岩手	あきたこまち	38,878	23,563	+ 15,315
宮城	ひとめぼれ	37,244	23,771	+ 13,473
宮城	つや姫	39,174	25,069	+ 14,105
宮城	ササニシキ	39,040	24,140	+ 14,900
秋田	あきたこまち	38,631	25,284	+ 13,347
秋田	めんこいな	36,961	24,113	+ 12,848
秋田	ひとめぼれ	37,393	23,090	+ 14,303
山形	はえぬき	36,974	25,746	+ 11,228
山形	つや姫	39,754	27,958	+ 11,796
山形	雪若丸	37,984	26,545	+ 11,439
福島	コシヒカリ（中通り）	35,643	26,313	+ 9,330
福島	コシヒカリ（会津）	-	26,375	-
福島	コシヒカリ（浜通り）	-	26,006	-
福島	天のつぶ	-	24,995	-
福島	ひとめぼれ	35,670	25,595	+ 10,075
茨城	コシヒカリ	38,130	27,755	+ 10,375
茨城	あきたこまち	36,029	26,056	+ 9,973
茨城	にじのきらめき	35,748	26,734	+ 9,014
栃木	コシヒカリ	37,563	25,124	+ 12,439
栃木	どちぎの星	35,024	24,913	+ 10,111
栃木	あさひの夢	-	24,430	-
群馬	あさひの夢	-	27,030	-
群馬	にじのきらめき	-	-	-
埼玉	彩のきずな	-	25,687	-
埼玉	彩のかがやき	-	23,674	-
埼玉	コシヒカリ	-	24,291	-
千葉	コシヒカリ	36,983	24,063	+ 12,920
千葉	ふさごかね	33,933	23,415	+ 10,518
千葉	ふさおとめ	33,393	23,363	+ 10,030
山梨	コシヒカリ	35,956	19,758	+ 16,198
長野	コシヒカリ	35,958	23,168	+ 12,790
長野	あきたこまち	35,009	22,507	+ 12,502
静岡	コシヒカリ	-	23,402	-

産地品種銘柄		令和7年産 〔出回り～ 7年9月〕 ①	令和6年産 〔出回り～ 7年9月〕 ②	価格差 ①-②
静岡	きぬむすめ	-	22,332	-
静岡	にこまる	-	24,228	-
新潟	コシヒカリ（一般）	38,613	23,687	+ 14,926
新潟	コシヒカリ（魚沼）	42,257	25,998	+ 16,259
新潟	コシヒカリ（左渡）	39,568	23,762	+ 15,806
新潟	コシヒカリ（岩船）	39,173	23,353	+ 15,820
新潟	こしいぶき	34,792	22,818	+ 11,974
富山	コシヒカリ	36,185	25,158	+ 11,027
富山	てんたぐ	35,627	23,758	+ 11,869
富山	富富富	34,809	-	-
石川	コシヒカリ	36,584	21,903	+ 14,681
石川	ゆめみづほ	33,856	21,385	+ 12,471
石川	ひやくまん穀	38,027	-	-
福井	コシヒカリ	32,807	21,385	+ 11,422
福井	ハナエチゼン	32,600	21,128	+ 11,472
福井	あさかり	31,857	21,154	+ 10,703
岐阜	ハツシモ	-	25,458	-
岐阜	コシヒカリ	39,324	24,907	+ 14,417
岐阜	ほしじるし	-	24,115	-
愛知	あいちのかおり	-	23,812	-
愛知	コシヒカリ	-	-	-
愛知	大地の風	-	-	-
三重	コシヒカリ（一般）	41,612	23,092	+ 18,520
三重	コシヒカリ（伊賀）	41,256	23,670	+ 17,586
三重	キヌヒカリ	38,713	22,312	+ 16,401
滋賀	コシヒカリ	34,927	23,553	+ 11,374
滋賀	みずかがみ	35,293	23,142	+ 12,151
滋賀	キヌヒカリ	33,784	23,959	+ 9,825
京都	コシヒカリ	36,914	22,502	+ 14,412
京都	キヌヒカリ	36,155	20,823	+ 15,332
京都	ヒノヒカリ	-	19,760	-
兵庫	コシヒカリ	38,049	23,452	+ 14,597
兵庫	ヒノヒカリ	-	23,032	-
兵庫	キヌヒカリ	-	22,477	-
奈良	ヒノヒカリ	-	21,667	-
鳥取	きぬむすめ	-	22,433	-
鳥取	コシヒカリ	36,587	21,810	+ 14,777
鳥取	ひとめぼれ	36,019	22,055	+ 13,964
島根	きぬむすめ	34,267	19,938	+ 14,329
島根	コシヒカリ	36,151	20,761	+ 15,390

産地品種銘柄		令和7年産 〔出回り～ 7年9月〕 ①	令和6年産 〔出回り～ 7年9月〕 ②	価格差 ①-②
島根	つや姫	35,278	20,464	+ 14,814
岡山	アケボノ	-	24,991	-
岡山	きぬむすめ	-	23,511	-
岡山	コシヒカリ	35,936	24,408	+ 11,528
広島	コシヒカリ	36,507	22,442	+ 14,065
広島	あさかり	35,937	21,095	+ 14,842
広島	あきるまん	35,575	21,684	+ 13,891
山口	コシヒカリ	35,590	22,588	+ 13,002
山口	ひとめぼれ	35,102	22,143	+ 12,959
山口	きぬむすめ	-	22,240	-
徳島	コシヒカリ	37,022	23,206	+ 13,816
徳島	あさかり	32,810	22,630	+ 10,180
香川	ヒノヒカリ	-	22,552	-
香川	コシヒカリ	-	22,515	-
香川	あさかり	-	22,127	-
愛媛	コシヒカリ	38,257	21,311	+ 16,946
愛媛	ひめの凜	-	-	-
愛媛	ヒノヒカリ	-	23,597	-
高知	コシヒカリ	35,299	22,339	+ 12,960
高知	ヒノヒカリ	-	21,367	-
福岡	夢づくし	33,312	23,647	+ 9,665
福岡	ヒノヒカリ	-	24,541	-
福岡	元気つくし	-	25,216	-
佐賀	さがびより	-	22,276	-
佐賀	夢しづく	-	21,680	-
佐賀	ヒルカリ	-	-	-
長崎	にこまる	-	24,178	-
長崎	なつほのか	-	23,780	-
長崎	ヒルカリ	-	23,569	-
熊本	ヒノヒカリ	-	26,038	-
熊本	森のくまさん	-	23,370	-
熊本	コシヒカリ	-	24,358	-
大分	ヒノヒカリ	-	24,252	-
大分	なつほのか	-	24,371	-
大分	ひとめぼれ	-	24,229	-
宮崎	コシヒカリ	-	22,600	-
宮崎	ヒノヒカリ	-	27,076	-
鹿児島	ヒノヒカリ	-	29,303	-
鹿児島	あきほなみ	-	32,373	-
鹿児島	コシヒカリ	31,683	21,140	10,543
全銘柄平均価格		36,885	24,848	+ 12,037

注1：農林水産省が調査・公表した出回りからの年産平均価格（令和6年産は出回りから7年6月までの速報値）であり、調査対象事業者は、一定規模以上の集荷業者（年間の販売数量5,000トン以上等）。

2: 運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3: 「-」については、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄又は取引数量の累計が100トン未満であり、公表を行っていないもの。

主食用米等の令和7/8年及び令和8/9年の需給見通し(令和7年10月公表基本指針)

【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】

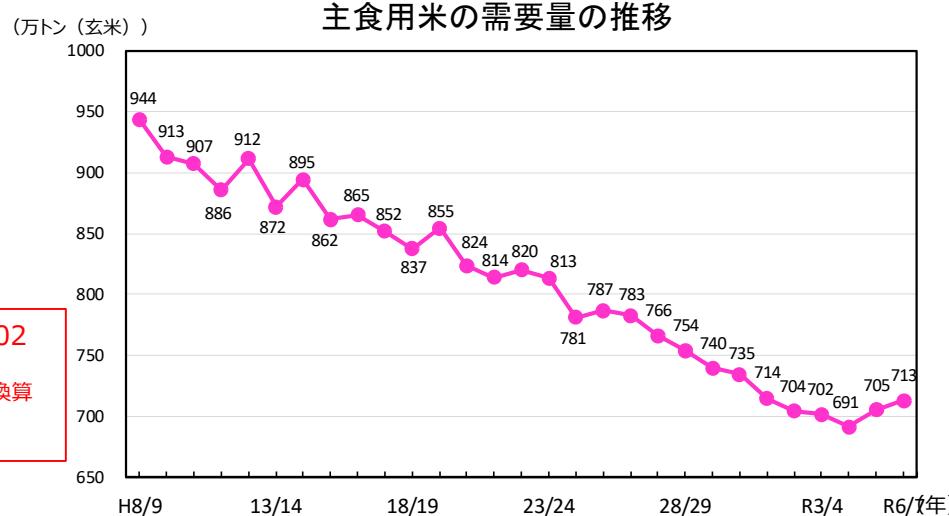
		玄米ベース (万トン(玄米))	精米ベース (万トン(精米))
令和7年	令和7年6月末民間在庫量	A 155	138
	令和7年産主食用米等生産量	B=C+D 748	662~670
	うち生産者ふるい目幅以上	C 715	
	うち生産者ふるい目幅未満のうち、主食用米への供給見込量	D 32	
	令和7/8年政府備蓄米供給量	E 23	21
	令和7/8年主食用米等供給量計 F=A+B+E	926	822~829
	令和7/8年主食用米等需要量	G 697~711	624~631
	令和8年6月末民間在庫量 H=F-G	215~229	191~205

作況単収指数102
(5中3平均)
↓100に換算
733万トン

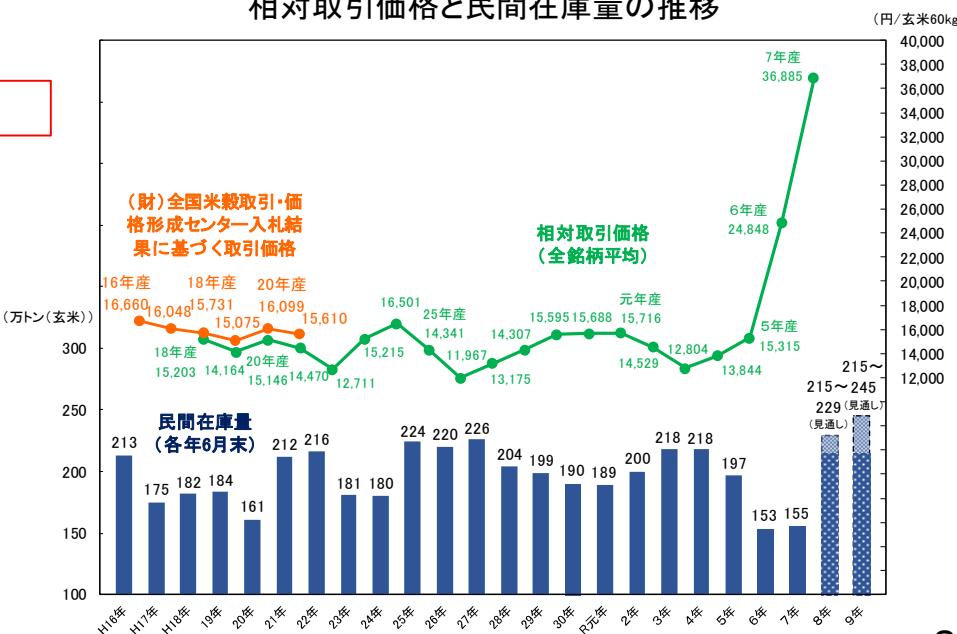
7年産には
買入を中止
した備蓄米
分が含まれる
▲21万トン

712万トン

近い水準



相対取引価格と民間在庫量の推移



【令和8/9年の主食用米等の需給見通し】

		玄米ベース (万トン(玄米))	精米ベース (万トン(精米))
令和8年	令和8年6月末民間在庫量	H 215~229	191~205
	令和8年産主食用米等生産量	I 711	630~637
	令和8/9年主食用米等供給量計 J=H+I	926~939	821~841
	令和8/9年主食用米等需要量	K 694~711	622~630
	令和9年6月末民間在庫量 L=J-K	215~245	191~220

注：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

※1：事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入れは21万玄米トンを予定。これは上記「令和8年産主食用米等生産量」には含まれていない。

※2：政府備蓄米の放出（全体で約59万玄米トン）に係る買戻し及び買入れは、今後の需給状況等を見定めた上で行う。

※3：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式や枠外の民間輸入（令和6/7年：約4万実トン）による輸入米は含まれない。

※4：需給の見通しについては、今後の生産量や需要量の把握に努め、必要に応じて柔軟に対応。

設定のポイント

- 令和8/9年主食用米等需要量 <694～711万玄米トン> ……①
 - ・ 令和7/8年の需要見通しの算定の考え方を踏襲して設定
 - ・ 1人当たり消費量(精米ベース)は、直近5年(令和2/3年～6/7年)の需要実績(精米ベース)を基に、平均値～最大値の幅で設定(50.2～50.8Kg/人)
 - ・ 人口とインバウンド需要について、令和8/9年の推計値を用いて算出
- 令和8年産主食用米等生産量 <711万玄米トン> ……②
 - ・ 生産量は、需要見通しに対して余裕をもって設定することとし、①で設定した需要量見通しの上位値に設定
- 令和9年6月末民間在庫量 <215～245万玄米トン> ……③
 - ・ 上記の見通し設定に伴い、令和9年6月末民間在庫量を設定

令和8/9年の主食用米等の需要見通しの算出

【算出のポイント】

令和7/8年需要見通しの算定の考え方を踏襲して設定

- ① 1人当たり消費量：直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）を基に、平均値～最大値の幅で設定
- ② 人口、インバウンド需要：令和8/9年の推計値に更新

【令和8/9年の主食用米等の需要見通しの算出方法】

I 1人当たり消費量(精米ベース)

【算出方法】

$$\left(\text{需要実績} - \frac{\text{インバウンド需要量}}{\text{(試算)}} \right) \div \text{人口} = \text{一人当たり消費量} \quad \text{(インバウンド需要除く)}$$

①直近5年平均値

50.2kg/人

②直近5年の最大値(令和6/7年)

50.8kg/人

II 令和8/9年需要量(玄米ベース)

一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

$$50.2\text{kg/人} \times 122,569\text{千人} = 615.0\text{万トン} + 6.6\text{万トン} = 621.6\text{万トン}$$

～

$$50.8\text{kg/人} \times 122,569\text{千人} = 623.0\text{万トン} + 6.6\text{万トン} = 629.6\text{万トン}$$

令和8年人口
(推計値)

令和8/9年需要量
(インバウンド需要除く)

令和8/9年
インバウンド需要量(試算)

令和8/9年需要量
【精米ベース】

令和8/9年需要量
【玄米ベース】

$$621.6\text{万トン} \xrightarrow{\text{玄米換算}} 694.1\text{万トン} \xrightarrow{\text{～}} 710.7\text{万トン}$$

／0.896

／0.886

(参考1)一人当たり消費量(精米)の推移

	需要実績 (万トン)		インバウンド 需要 (万精米トン) (②)	人口 (千人) (③)	1人当たり 消費量 (精米kg) (①-②)÷③
	玄米 (①)	精米 (①)			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	712.7	635.0	5.7	123,802	50.8
5年平均					50.2

(参考2)精米歩留りの推移

(単位: %)

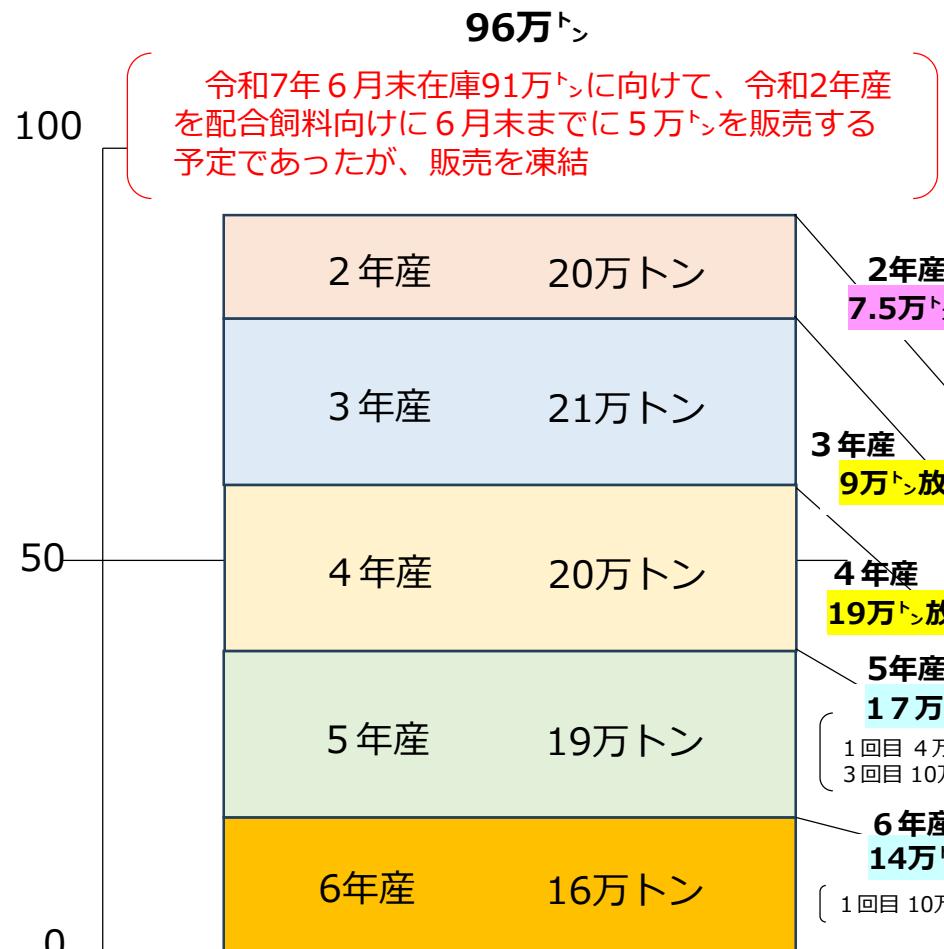
2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(参考3)人口減少による需要の減少量

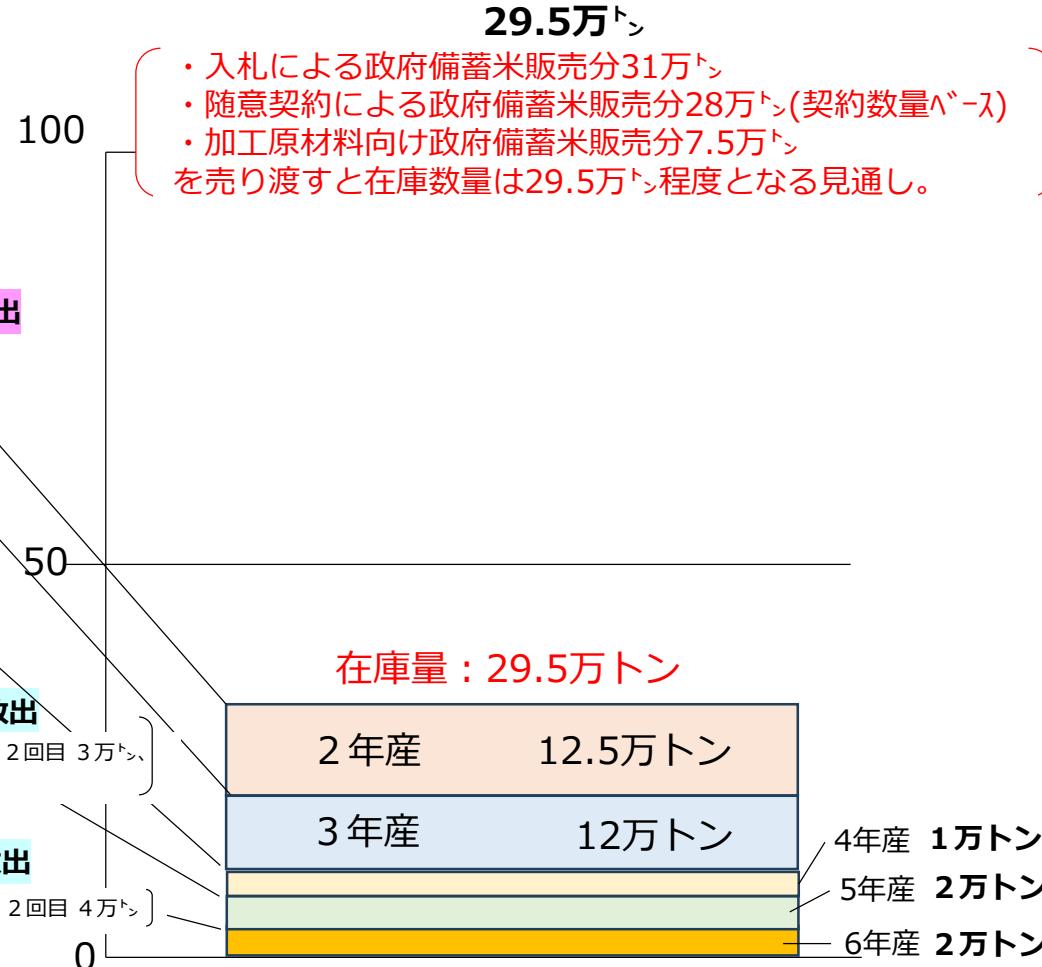
R7/8年からR8/9年の人口減少(▲60万人)による需要の減少量は ▲60万人 × 50.8kg/人 = ▲3.1万トン

政府備蓄米の在庫状況について

売渡し前の在庫状況（7年3月末）



現在の枠が全て販売された後の在庫見込み



- 加工原材料向け売渡し
- 隨意契約による売渡し
- 買戻し条件付の売渡し

食料・農業・農村基本計画における米の生産量等の目標と現在の生産状況

- 食料・農業・農村基本計画（令和7年4月11日閣議決定）において、米については、輸出拡大を見込んで、**2030年の生産量を2023年の791万トンから818万トンに増大させる目標**としているところ。
- この818万トンの目標については、主食用米の他、備蓄米、新市場開拓用米や飼料用米等を含んだものとなっている。
- 基本計画の目標達成に向けて、これまでと同様に、それぞれの用途の「需要に応じた生産」を進める方針。

○食料・農業・農村基本計画 別表1 品目ごとの国内消費仕向量、生産量、輸出量、単収、作付面積(抜粋)

	国内消費仕向量(万トン) 1人・1年当たり消費量 (kg/人・年)		生産量 (万トン)		うち 輸出量 (万トン)		単収 (kg/10a)		作付面積 (万ha)	
	2023 年(年度)	2030 年(年度)	2023 年(年度)	2030 年(年度)	2023 年(年度)	2030 年(年度)	2023 年(年度)	2030 年(年度)	2023 年(年度)	2030 年(年度)
米※2	824 (51.1)	777 (50.6)	791	818	4.4	39.6	535	570※3	148	144

※2 米の輸出量は玄米換算。

※3 米の単収(2030年)は、主食用:555kg/10a、新市場開拓用:628kg/10a、米粉用:616kg/10a、飼料用:720kg/10a。

○米の生産状況 (単位:万トン、万ha)

	生産量			面積		
	子実用	飼料用	子実用	飼料用		
5年産	791.0	716.5	74.5	147.8	134.4	13.4
6年産	786.8	734.5	52.3	145.8	135.9	9.9
7年産	803.9	779.2	24.8	147.0	142.4	4.6

注1：子実用：農林水産省統計部「作物統計」の水稻収穫量（子実用）及び作付面積（子実用）、飼料用：「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移」。

2：7年産については、農林水産省統計部の「令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」の主食用米（1.70mmベース）と加工用米、新市場開拓用米、米粉用米及び飼料用米の取組計画の合計。